

第2回震災復興音楽祭～希望～ 追悼と復興への願いを音楽に込めて

震災から3年を迎えた3月11日、市民会館（手代町）で「第2回震災復興音楽祭～希望～」が開催されました。ステージでは公募で集まった33団体が多彩な歌や踊りを披露したほか、埴町出身のつのだ☆ひろさんがゲストで登場。力強い歌声で代表曲「メリージェーン」のほか6曲を歌い上げ、観客を魅了しました。最後は、参加者と観客全員で市民歌「このまちがすき」とNHK復興支援ソング「花は咲く」を合唱し、音楽祭を締めくくりました。



▲つのだ☆ひろさんも参加した全体合唱

白河シンボルロード・オープニングセレモニー 新しい道路の開通を祝う

都市計画道路「白河駅白坂線」の一部区間（大工町・手代町）開通と「一番町大工町線」大工町工区の竣工に伴うセレモニーが、3月23日に両路線が交差する大工町地内で行われました。

セレモニーでは、公募で決定した各路線の愛称「小峰通り」・「門前通り」が発表されたほか、人力車体験や大工町町内会による餅まき、ミニコンサートなどが行われ、本市のシンボルロードの開通を祝いました。



▲開通を祝いテープカット

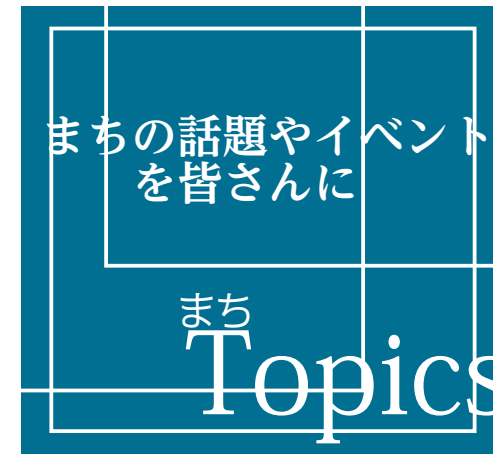
農産物ブランド認証書交付式 地場産品を使用した「しらかわしゅうまい」

3月19日、白河の誇る優れた農産物や加工品であることを認める「白河ブランド」の認証書交付式が行われました。今回認証されたのは、(有)王王楼の「しらかわしゅうまい」です。1個40グラムとボリューム感のある一品で、材料には同ブランド認証品第1号の「白河高原清流豚」をメインに、市内で生産された野菜や酒、しょうゆなどの地場産品が使われています。

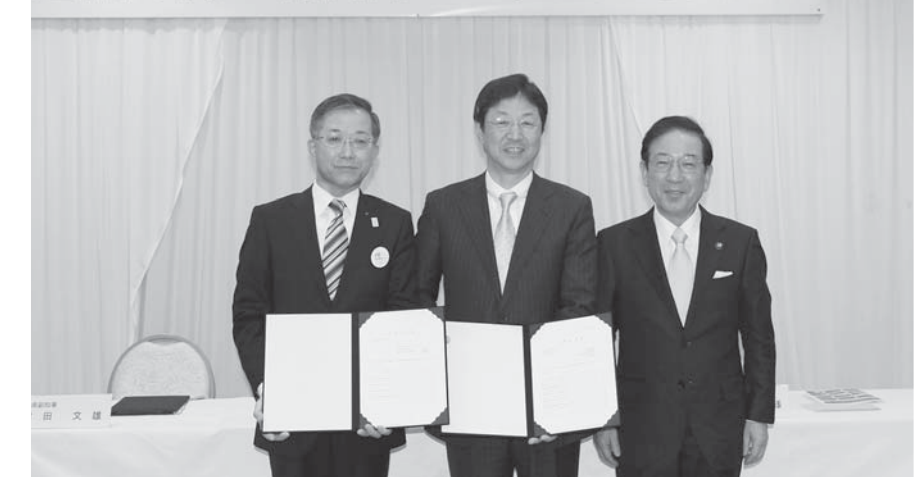
認証産品は「白河市農産物ブランド認証マーク」を付けて販売されます。



▲農産物ブランド認定書交付式の様子（左上はブランド認証マーク）



福島県企業局・三菱ガス化学株式会社 工業の森・新白河B工区土地引渡式



三菱ガス化学(株)への土地引き渡しが完了 平成28年度の操業開始を目指す

3月16日、ホテルサンルート白河（新白河駅前）で、鈴木市長立ち会いの下、福島県から三菱ガス化学(株)（東京都、倉井敏磨社長）への「工業の森・新白河」B工区（豊地地内）の土地引渡式が行われました。平成24年3月8日の土地売買契約締結後、約32haの用地を県が造成し、このたびの引き渡しとなりました。

今後は、第一期工事として約120億円を投じて「ヘルスケア」と「情報電子」両分野の製造・研究施設が建設される予定です。当初は地元から100人程度を新規雇用する計画で、平成28年度の操業開始を目指しています。また、同社によれば、将来的にはグループの先端材料加工事業の一大拠点とする意向があり、この大規模な工場立地は、本市の発展に大きく寄与するものと期待されます。

▲左から村田文雄副知事、河邦雄三菱ガス化学(株)取締役常務執行役員、鈴木市長



▲工業の森・新白河B工区

市民文化会館（仮称）新築工事安全祈願祭 平成27年度末に完成予定

3月24日、市立図書館西側の市民文化会館建設地（会津町）で、工事の安全祈願祭が行われました。

新会館は、地下1階地上4階で延床面積は9,783㎡。1,104席の大ホールのほか、321席の小ホール、イベント活用ができる中庭やラウンジなどが設置されます。完成は平成28年3月の予定です。

鈴木市長は「復興のシンボルとなる施設として、情報文化発信および市民交流の場にしていきたい」とあいさつしました。



▲安全祈願祭の様子